

別紙

臨床研究に関するお知らせ

[研究課題名]

BMI 値の変動が免疫抑制剤タクロリムスおよびシクロスポリンの服用後の薬物体内利用率（バイオアベイラビリティ）に与える影響に関する後方視的調査

[内容]

肥満になると身体の生理状態が変わり、血中の薬物濃度に影響を与える可能性が考えられています。このような変化の原因を明らかにすることは、お薬の量を調節するときに非常に重要な情報となります。これまでに私たちは、肥満ではタクロリムスというお薬の血中濃度が上がりやすくなるのではないかということをご報告してきました。今回はその原因として、タクロリムスおよびシクロスポリンを内服したとき小腸からのお薬の吸収に肥満がどのように影響するかを検討することとしました。

[対象]

2009年1月から2013年12月までに金沢大学附属病院に入院されタクロリムス(商品名: プログラフ) およびシクロスポリン(商品名: ネオーラル、サンディミュン) が投与された患者が対象となります。

[方法]

金沢大学附属病院のカルテ情報から、体格の違いによるタクロリムスおよびシクロスポリン吸収率の変動を調査します。

この研究は過去の診療録を用いた研究であり、対象となる方が直接治療を受けるといったことはありません。不利益として個人情報の漏洩の危険性が考えられます。このような場合、対象となる方が特定の情報と結びつけることが出来ないように匿名化しますので、個人情報などプライバシーに関する情報が公表されることは一切ありません。

この調査にご協力頂けるかどうかは、あなたの自由意思です。もし調査への参加をお断りになられたとしても、治療などの点においてあなたの不利益になるようなことは一切ありません。

参加をご希望されない場合は、2014年10月31日までに金沢大学附属病院薬剤部の崔までお知らせください。

2014年8月
金沢大学附属病院薬剤部
研究責任者 崔 吉道
電話 076-265-2045